

授業展開例(4年生)

【教材】「ちこく」

出典「小学どうとく 生きる力
4年(日本文教出版)」

児童の
実態

周りのことを考えて行動する機会が増えてきた一方、相手を意識した言動に欠けるところがあり、自分勝手な態度が見られることがある。

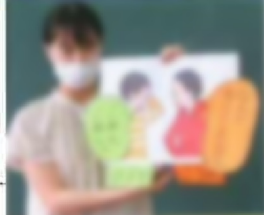

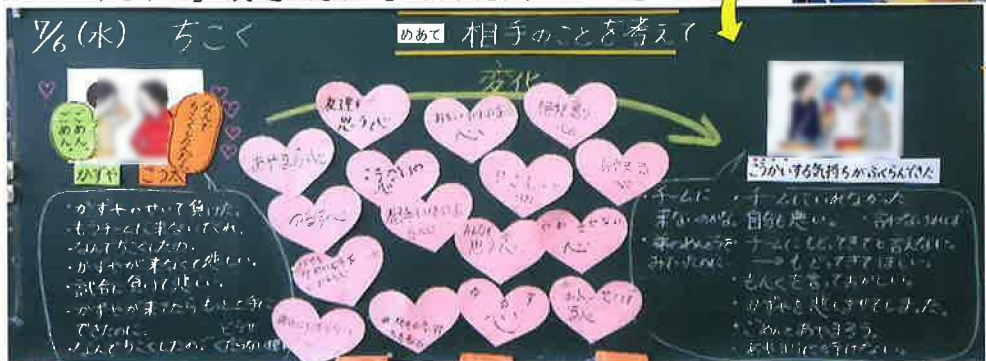
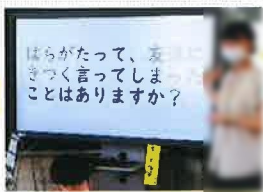
【ねらい】遅刻したかずやの気持ちや、かずやを責めてしまい後悔するこう太の思いを考慮を通して、自分の生き方を見つめ直し、相手のことを考えて行動しようとする心情を育てる。

教材

内容
項目

【相互理解, 寛容】

※目指す児童の姿、主題に迫る学習課題、本時で働かせる見方・考え方については、学習構想案に記載(資料集参考)

学習過程	学習活動(・児童の反応)	教師の発問	授業改善の観点
気付く	1 挿絵を提示し、どんな場面か全体で出し合う。 この絵はどんな場面だと思いますか。 ・友だちとけんかをしてしまった。・物を壊してしまった。 【めあて】相手のことを考えて		【工夫①】 教材文の一場面だけを提示することで、内容への興味や疑問等を引き出すようにした。
	2 教材を聞き、話し合う。 主人公「こう太」の気持ちを考えながら聞きましょう。	話を聞いて、「①心に残ったこと②みんなと考えたいこと③疑問」を発表しましょう。 ・かずやが遅刻した理由も聞かずにこう太が決めたのはなぜだろう。 ・かずやは弟の面倒を見ていただけなのに、チームをやめさせるのはだめ。 かずやが遅刻してきたとき、こう太の心の中はどうなっていたんだろう。 【A:共感的な発問】 ・かずやのせいで試合に負けたからチームに来てほしくない。 ・負けて悲しい気持ちと、かずやが来なくて悲しい気持ち。 ・かずやがいたら、もっとよくできたのに。 ○かずやの遅刻の理由を知ったこう太が後悔していたことを全体で確認する。 こう太が、寂しそうなかずやを見て後悔したのはなぜだろう。【B:分析的な発問】 (伝え合い→全体交流) ・遅刻したかずやも悪いけど、自分も言いすぎた。 ・かずやは弟の面倒を見ていただけなのに、かずやを悲しませてしまった。 ・あやまりに行きたいけど、強く言いすぎて行きにくい。	
考える	こう太の気持ちは、始めと後で? ・変わった! どんな心が大きくなったから? 【D:批判的な発問】 ・「やさしい心」「あやまる心」「こうかいの心」 「ゆるす心」「友達を思う心」「相手意識のある心」	班で考えた心をハートカードに記入し、黒板に貼っていた。	【工夫④】 登場人物の心情の変化を構造的な板書で整理した。「大切にしたい心」を児童の言葉で中央に掲示したことで、学んだことを視覚的にも意識させることができ、振り返りでの活用につながった。
	3 自分自身を振り返る。 ○児童アンケートの結果を共有し、自分の生活を振り返る。 自分が大切にしたい心を選んで、その理由も書きましょう。 ・私も○○さんと同じように「相手を思う心」を大切にしたいです。ケンカをしたとき仲直りができると思うからです。		

気付く

考える

広げ

見つめる・つなげる

これまでの授業実践から

学習過程

気付き

考え

る

る

広げ

る

見つめる・つなげる

①自分事として捉える導入の工夫

★児童の実態と道徳的価値を関連付けた話題を提示し、自分の生活とのつながりに気付けるようにする

1年「かずやくんのなみだ」【公正、公平、社会正義】

■運動場の写真と男の子の挿絵を提示し、男の子が泣いている理由を出し合うことで、教材の内容に興味関心をもって臨めるようにした。

運動場でかずやくんが泣いているのはなぜだろう？



②問題意識をもつ教材提示、発問の工夫

5年「がんばれ熊本、がんばれ西原」【よりよい学校生活、集団生活の充実】

■「集団」に対するイメージをマッピングし、具体的な場面を想起させて教材提示につなげる。

「集団」って、どんなイメージがありますか？



③主体的に学び、他者との考えをつなぐ学習活動の工夫

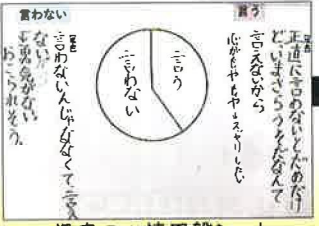
★自分の考えを明確にし、考えを伝え合う学習活動を工夫することで、児童の発言から道徳的価値につなぐ

5年「のりづけされた詩」【正直、誠実】

■心情円盤シートの活用→考えの視覚化し、伝え合う必要感をもつ



正直に先生に言いますか？
言いませんか？その理由は？
C:自分と重ねる発問



私だったら言わない気持ち強いよ。わけは…

児童の心情円盤シート

6年「ブランコ乗りとピエロ」【相互理解、寛容】

■ネームカードの活用→考えの視覚化と、考えの理由の検討につなぐ



サムの行動を許せますか？
許せませんか？その理由は？
C:自分と重ねる発問



ぼくだったら自分勝手なサムを許せない。

④自己を見つめ、道徳的価値の自覚を促す振り返りの工夫

★自分の生活とつなげて考えることで自分の納得解を導き出し、道徳的価値の内面化や実践意欲につなぐ

2年「きつねとぶどう」【家族愛、家庭生活の充実】

■保護者からの手紙を読み、自分に対する家族の思いを知ること、家族に対する感謝や大切な思いを改めて捉え直せるようにした。



手紙を読む児童

(お家の人にいつも応援してくれてありがとうございます。伝えたいです。)

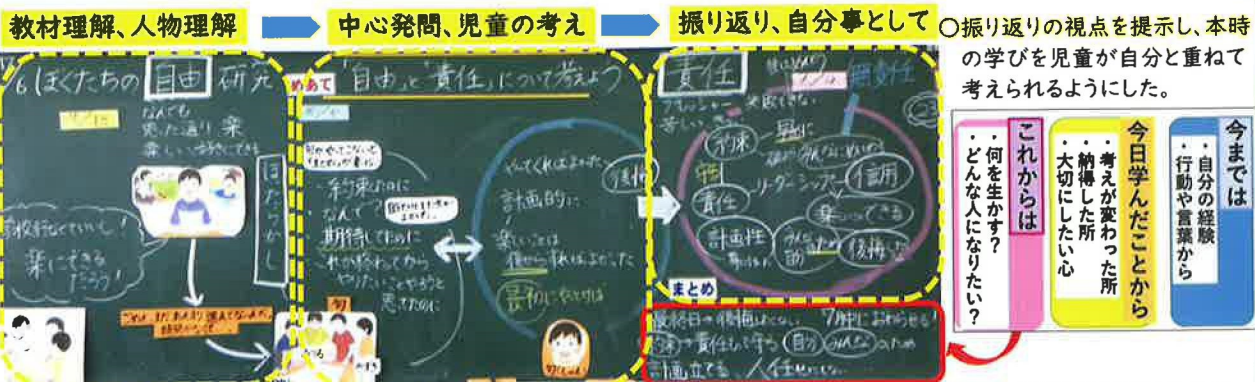
3年「つたえたい言葉は」【感謝】

■自分たちのために活動されている方(交通安全指導員)からの声を紹介し、「感謝」の心について自分事として振り返ることにつなげた。

ドラ・パト隊の方は「みんなが元気に登校してくれるとうれしい」という思いでみんなのこを見守ってくださっているんだね。



★構造的な板書の工夫 ○縦書き、横書きにこだわらず、児童の思考を整理し深化させる構成を意識した。



○振り返りの視点を提示し、本時の学びを児童が自分と重ねて考えられるようにした。

今までは
・自分の経験
・行動や言葉から

今日学んだことから
・考えが変わった所
・納得した所
・大切にしたい心

これからは
・何を生かす？
・どんな人になりたい？

※板書の仕方については、教材の内容、授業展開等によって、柔軟に活用し取り入れていく。